

7月29日(土)発行

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ 日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza



7/28 東京都交響楽団

©T.Tairadate

北欧を巡る 三者三様の創造性の旅

ツール・ド・フランスはデンマーク人ヴァンゲゴが凄絶な強さをみせて2連弾、東京ではノルウェー人ハーランドが2ゴールを決めてフィーバーを起した2023年の夏、東京都交響楽団が「北欧名曲選」でフェスタ5日目を堂々と沸かせた。音楽監督の大野和士とは、実に8年ぶりとなる再登場。「納涼」を銘打つが、重厚な弦の響きのうえに、名手揃いの管楽器が色彩豊かに生きて、熱く濃密な夏の夜がくり広げられた。

まずはデンマーク。ニールセン晩年の『フェロー諸島への幻想旅行』が、仄暗い低弦とティンパニの響きで静穏に始まり、木管が鮮

やかに歌って想像の旅が広がる。壮麗も典雅も、異国情緒も舞踏的な高揚もくっきりと描かれる。都響の鍛えぬかれた響きは、ミュージア川崎で聴くと、なおさら筋肉質に引き締まってタフに聞こえる。油彩画の豊饒だ。

そこにベルリンで学ぶ新鋭、久末航のピアノが清新な息を吹き込む。舞台はノルウェーに移り、グリーグ20代の協奏曲イ短調。久末のピアノは抜けの良い透明な音で、軽快に翔る。情趣や色彩の変化を織り込むにはすっきり清涼な美質だが、ていねいに構築され、清冽な光彩を放った。これからが楽しみな青年だ。

そして、フィンランドが誇るシ

ベリウスの交響曲第2番ニ長調。有機的な構成を強く掴みながら、全曲を通じて劇的な葛藤を緊密に描き込まれた。うねりをもって綿々と鳴り響くのは、まずは意志の劇であり、創造の苦悩だ。粘り強く歌いぬく大野の指揮は、光明を求めつつ、模索の苦みを聴き手の心に熱く残した。

北欧を巡るプログラムは、三者三様の創造性を求める内面の旅であった。(青澤隆明/音楽評論家)



©T.Tairadate



左：久末航（ピアノ） 右：大野和士（指揮）

ご来場者の声

サマーミュージックに初参加です。都響で久末さんのピアノを聴けるので楽しみにしていました。毎日の猛暑の中、北欧の風が吹き抜けました！大野さん、久末さん、そして楽団の皆さん、ありがとうございます！(50代・ゲーファー) / 今回のピアニスト初めて聴きましたが素晴らしい演奏でした。指揮者の大野氏のお眼鏡に叶ったピアニストです。今後のご活躍をお祈りしております。都響の皆様ブラボーです！(80代・なし・MIITHAN) / 久末氏のピアノが素晴らしかった。時空を越えてグリーグが久末氏に乗り移り、やってきた感覚を覚えた。私も音楽に酔いしれることが出来た。(60代・主婦・夢みがちなおばさん) / フィヨルドを思わせる彫りの深いグリーグ、白夜の森と湖が目浮かぶシベリウス。しばしフェスタサマーミュージックで避暑のひとつ。 (60代・会社員・のらきち) / 今回シベリウス第二番を演奏していただけたことが嬉しいです。知らない曲でしたが大好きになりました。こういう出会いがあるのもサマーミュージックの良いところです。(会社員・匿名) / ホールに鳴り響く音のなかで、曲の流れやうねりに身を委ねて、心揺さぶられるひと時を楽しませて頂きました。お目当てのシベリウスを堪能しました。都響ブラボー！(50代・会社員・匿名)

Next!
サマーミュージック
明日のチケット情報

山形交響楽団
山響×鈴木秀美 クラシックの真髄プログラム
7/30(日) 15:00 開演 (14:00開場)
会場：ミュージア川崎シンフォニーホール

- ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲
- シューベルト：交響曲第8番「ザ・グレート」

プレトーク (14:20~14:40)
出演者によるプレトーク
※本公演と同じお席でお楽しみください。

【料金】 S¥5,000 A¥4,000
B¥3,000 U25:各席種半額

特別企画 \ミュージアへようこそ！お楽しみ抽選会♪ /

高島ワインほか特産品など
豪華つめあわせが当たるかも!?



詳細はこちら

Tel・Web予約 当日券カウンター
▶ 当日 13:00 まで ▶ 14:00 より

当日券あり



指揮：鈴木秀美



ヴァイオリン：石上真由子



きらめくライジングスターたちがミュージアで奏でる大晦日!

ミュージアでは今年も「MUZA ジルベスターコンサート2023」を開催します! 未来を担う3人の若手アーティストが登場し、それぞれの持ち味を活かしたプログラムを披露します。

まずは、トランペットの児玉隼人によるアルチュニアン「トランペット協奏曲」。2009年生まれでなんとまだ14歳ながら、日本クラシック音楽コンクールで成人を含む他の出場者を抑え第1位を獲得するなど、数々のコンクールでグランプリに輝く、恐るべき才能の持ち主です。

続いて、若手正統派ジャズ・ピアニスト小沢咲希。すでにブルーノートでも活躍し、今年6月に記念すべきファーストアルバム『Cheers!』をリリース。今回がオーケストラ初共演、ジャズトリオでガーシュウインの「ラプソディ・イン・ブルー」を演奏します。「僕たちと同じ音楽言語で会話できる」と太鼓判を押すベテ

ランの井上陽介(b)や高橋信之介(drs)と、ミュージアでもおなじみの強力な布陣がバックアップします。

そして、昨年の仙台国際音楽コンクールのヴァイオリン部門で史上最年少となる17歳で優勝を果たした、中野りな。アントニオ・ストラディバリの銘器が貸与されていることから、彼女の未来が囑望されていることが分かります。すでに様々なオーケストラと共演を重ねてきた注目の俊英は、シベリウスの「ヴァイオリン協奏曲」をチョイス。

コンサートの最後は、シベリウス「フィンランディア」で、華やかに未来への希望とともにコンサートを締めくくります。

3人の若き才能と巨匠・秋山和慶&東京交響楽団の競演、どうぞご期待ください!

(事業課・ほ)



指揮：秋山和慶



トランペット：児玉隼人



ピアノ：小沢咲希



ヴァイオリン：中野りな



ベース：井上陽介



ドラムス：高橋信之介

◆MUZA ジルベスターコンサート 2023

12月31日(日) 15:00 開演

アルチュニアン：トランペット協奏曲
ガーシュウイン：ラプソディ・イン・ブルー
シベリウス：ヴァイオリン協奏曲
シベリウス：交響詩「フィンランディア」

【料金】S¥7,000 A¥6,000 B¥5,000 C¥4,000
U25:各席種半額

【発売日】友の会先行(9/12) Web会員(9/15) 一般販売(9/22)



チキンビリヤニ ライタ・コンソメスープ付 900円(税込)

暑い夏にはスパイシーなインド料理が食べたい

2022年10月オープンの新店。店内ではザ・インド映画!なダンスシーンがテレビで流れ、壁にかかったガンジス川(?)の大きな写真が一眼の清涼感を演出しています。

チキンビリヤニは、色鮮やかなオレンジと白が美しいビリヤニがこんもりと盛られ、ライスをかき分けると大きな骨付チキンが出現!スパイシーなライスに

は酸味と塩気の効いたソースも混ざり、味のコントラストも素敵。チキンはスプーンでほぐせるほろほろ具合。付け合わせのライタ(ヨーグルトのサラダ)の爽やかな味も相性ぴったり、優しい味のコンソメスープ付きで

900円也。冷房がなく入口が解放されているのも現地っぽさを彷彿とさせます。大汗かきながら真夏の南インド料理、お試しあれ。(広報 スリランカ行きたい)

アラビアン ビリヤニハウス M 川崎駅西口周辺

パートナーショップ特典 ビリヤニライス大盛り ※お食事ご利用のお客様に限り ※優待券持参のみ

フェスタサマーミュージア公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージア
#お待ちどうサマー♪
で検索 & 投稿
お待ちしております!



Twitter: @summer_muza
Facebook: @kawasaki.sym.hall
Instagram: @muzakawasaki

す! 皆さまのご利用をお待ちしております! (受付 もも)

2020年3月30日までお気軽にお問合せください。

音楽工房には、市民交流室、企画展示室、練習室、会議室、研修室、と複数の貸室があります。市民交流室は「コンサート、ピアノの発表会はもちろん、他にも講演会やレセプション等でもご利用いただけます。企画展示室は創作活動の発表の場として作品展示が可能です。練習室にはグランドピアノ(有料)を常設しており音楽練習が可能です。会議室と研修室は座学の会議、研修、勉強会等でもご利用いただけます。内容に合わせたお部屋の提案も可能ですので、施設予約Tel.044-520-0300までお気軽にお問合せください。

とところで、ミュージアには音楽ホールとは別に「音楽工房」というものがあることはご存知ですか?

音楽工房には、市民交流室、企画展示室、練習室、会議室、研修室、と複数の貸室があります。市民交流室は「コンサート、ピアノの発表会はもちろん、他にも講演会やレセプション等でもご利用いただけます。企画展示室は創作活動の発表の場として作品展示が可能です。練習室にはグランドピアノ(有料)を常設しており音楽練習が可能です。会議室と研修室は座学の会議、研修、勉強会等でもご利用いただけます。内容に合わせたお部屋の提案も可能ですので、施設予約Tel.044-520-0300までお気軽にお問合せください。

今年もサマーミュージアが始まりました!連日多くのお問合せをいただいております。今年もにぎわいを感じます。サマーミュージア期間中は、ホール内ドリンクコーナーが復活、また、ロビーにて一部グッズの販売もご用意しています。皆さまにお楽しみいただけるよう準備をいたしましたので、ご利用いただくと幸いです。

スタツフ日誌